

2015 四つの国から

元気です Women

研究室から未来発信

徳島

徳島支局
〒770-0831
徳島市寺島本町西
1-7-1
日通朝日徳島ビル2F
☎088-622-3155
~3157
652-2299
626-3544
655-5408
FAX

ホームページ
http://www.yomiuri.co.jp/local/tokushima/

通信部
阿南 0884-22-0816
三好 0883-72-5261
日和佐連絡所
0884-77-1234

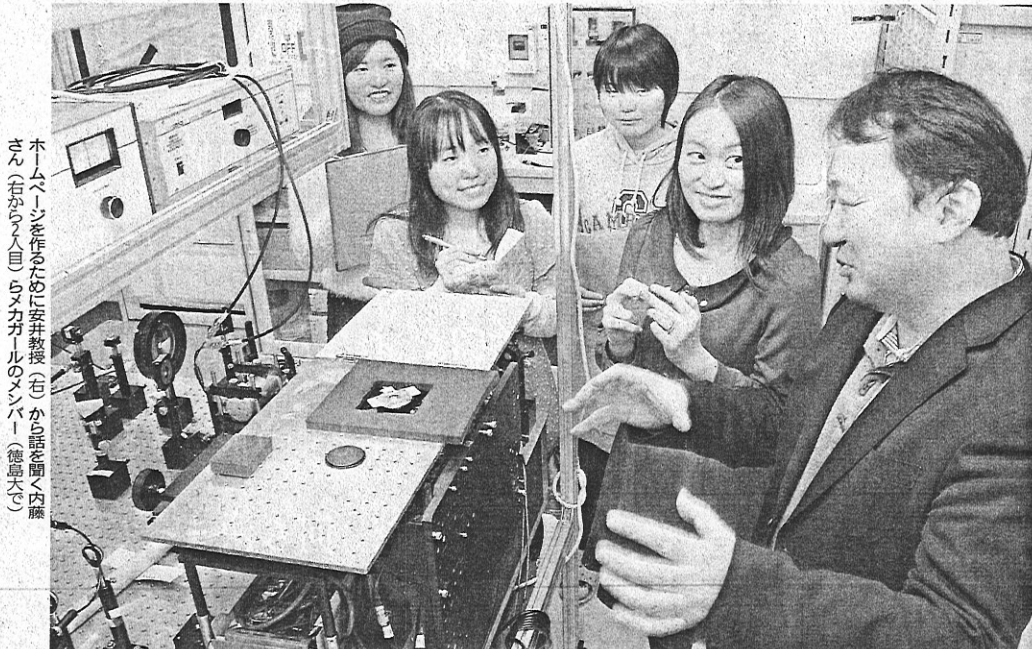
販売のご用は
☎088-655-7775

広告のご用は
☎088-625-5210

読売旅行は
☎088-652-4343

@ ホテルアドイン鳴門
徳島県鳴門市撫養町(鳴門郵便局横)
☎0818-6611-1155
〒778-0202 徳島県鳴門市撫養町
インターネット予約 www.narutoadinn.com/adinn/

美味しいお料理と
大浴場のあるホテル
温泉やビジネス出張に最適な設備が充実
お風呂もゆったり
7メニエも充実しています。



ホームページを作るために安井教授(右)から話を聞く内藤さん(左)から目玉メカガールのメンバー(徳島大)

若者集まれ 技術PR

メカガール
(徳島大)

大学出身者のノーベル物理学賞受賞の興奮が冷めやらぬ、徳島大第三島キャンパス(徳島市)。工学部機械工学科の実験室に、同科の女子学生でつくるグループ「メカガール」のメンバーが集まっていた。

机にあるのは、安井武忠教授(45)が開発を進める「コーラ1ゲン顕微鏡」。「皮膚の」

「元始、女性は大陽であった」。かつて平塚らいてうは、文芸誌にこう記した。それから百余年。この国はまだ、「すべての女性が輝く社会」を、目標として掲げる段階にある。だが、古里に目を移してみよう。四国には、周りを照らし、未来をひらく女性たちがいる。

ラーゲンを直接見ることで、きる装置は世界初。大手企業からも注目されている研究なんだ。そう説明すると、将来は化粧品会社での研究を目指す1年、髭坂綾乃さん(19)が目を輝かせ、メモをとる。

同科の学生は、ほとんどが男子。そんな中、「女子自線で機械工学の面白さを発信しよう」と昨年5月に1年生



ホームページの内容について話し合う4人

4人で結成したのがメカガールだ。発案者は、内藤佐和子さん(30)。これまでも地域活性化活動に取り組み、同年春から2度目の大学生活を送る。



「将来は弁護士になる」と、東京の大学に進学した内藤さん。20歳の春、突如めまいに襲われた。進行すると歩行や視覚に障害が起きる難病だった。医師から「ストレスで症状が悪化する」と言われ、夢を諦めた。

しかし、後ろは向かなくなった。起業するなど、学外で精力的に活動。「病気になるなければ、こんなにワクワクする体験はできなかった」と振り返る。

内藤さんが古里に目を向けたのは、大学生活も後半に差しかかった頃だった。

「『アキラ』ができないなんて、ありえない」

徳島市内で開かれた、高校の同窓会。友人とプリントシールを作ろうとしたが、機械を置いていたゲームセンターはなくなり、商店街はシャッターが目立つようになっていた。



「このままでは、若者は離れていく」。2009年、東京にいる徳島出身の学生を集め、「徳島活性化委員会」を結成して代表に就任。卒業後



「コーラゲン顕微鏡やレンズを問わずに写真撮影できる装置の開発、小惑星探査機はやぶさの開発に携わった教授……」

「地方でも、こんなに面白い研究ができる」とわかったら、若者が集まるのでは？」

圧倒的に男子が多いことを逆手に取り、「女子が発信したら注目が高まる」と、同級生に参加を呼びかけた。高校を出て間もない3人は「恥ずかしいけど、うちうちうちが、機械って油まみれで作業服を着てるイメージ。女子の力で変えてやろうよ」という内藤さんの言葉に背中を押された。4人は今、研究内容を徳大生の生活を伝えるホームページを制作中。高校生が知りたいと思う情報を、若者自線で紹介することを目指す。



内藤さんは授業後、長男(3)を幼稚園に迎えに行き、時折、「この子が大きくなるまで、健康でいられるのかな」と不安に襲われる。だからこそ「一分一秒を大切に生きたい」と思う。

10年後、20年後に生まれてくる子どもたちが、住んで良かったと思える古里にしたい。「若者が住みたいと思えるまでは、若者にしか作れないよ。だから自分たちで動いて変えたい」と、「女子大生」って、いっぱい可能性秘めるとるから」(山上高弘)